

ノーサイド

北原 巖 男

拡大を意味することがあるため、現在は本当に控えるべきです。

： 不必要な接触を避けることで、病院で日々増え続ける感染者の世話をしているすべてのの方々を助けることになりま。

： この状況は深刻であり、まだ見通しが立っていません。それはつまり、一人ひとりがどれだけきちんと規則を守って実行に移すかということにも事態が左右されるといことです。

「緊急事態の時こそお互いに近くにいたいと思うものです。私たちは、好意というものを身体的な近さやスキンシップとして理解しています。けれども、残念ながら現在は、その逆が正しいのです。これはみんなが本当に理解しなければなりません。今は、距離だけが思いやりの表現なので。良かれと思ってしまう訪問や、不必要な旅行、こうしたこと全てが感染

さん」向けの演説より。林

き起こすことになりま

「皆さんに改めてお願いいたします。どうか、外出を控えてください。出来る限り、人との接触を避けてください。そのことが医療現場を守り、多くの命を守ることになります。

ひいては、皆さんや皆さんの愛する人たちを守ることに

「4月17日安倍首相記者会見より」

戦っていたことは、最優先かつ大至急の国家施策です。それは、彼らに対する国民の感謝と思いやりの資源投入でもありません。

外出している人々がテレビのマイクに答えています。「ソーシャルディスタンスには十分気を付けている」、「ちょっとだけだから大丈夫だと思って」、「ここは3密(密集・密閉・密接)ではないでしょ」、「マスクもしているし手洗いもしっ

今は、距離だけが 思いやりの表現なのです

たとえ今まで一度もこのようなことを経験したことが無くても、私たちは、思いやりを持って理性的に行動し、それによって命を救うことを示さなくてはなりません。それは、一人ひと

とつながります。全ては、私たち一人ひとりの行動にかかっています。

スクが高く、激務が連日続く現場からは、医療用マスクや手袋・防護服・フェースシールドやベッド、必要とする高度治療機器等、敵

その責任とは、既に皆さんもご承知の「人との接触の8割減を徹底する！」こと

かな強敵です！
何としても、8割減を實現しましょう！それこそが、あなた自身の思いやり、そして真の愛情の表現なのですから。

せん。それは、一人ひとりの流れが生まれるようなことは絶対に避けなければならぬ。それは最も恐れるべき事態である全国的かつ急速なまん延を確実に引

「防衛装備品」の不足を訴える悲壮な叫びが続いています。医療従事者の皆さんに、十分な即応能力・抗

厚生労働省のクラスター対策班の西浦 博・北海道大学教授は、「接触の8割減を實現出来れば、流行を止めることが出来る」と指摘しています。(4月16日

北原 巖男(きたはらいわお) 元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事